

ゴミ問題が解決しない理由

(原文)

山崎 亮太郎 (14 歳)

東京都

国土館中学校

自分が暮らす社会には様々な問題がありますが自分は地球全体の問題というより、身近な問題について書きたいと思います。それはなぜかというとな身近な問題が積み重なり地球全体の問題につながるからです。自分の身近の問題、それは家庭から出るゴミです。ゴミ問題は社会問題として取り上げられていますし授業でも学んでいますがそれを実際に心がけている人が圧倒的に少ないように自分は思います。毎朝通学途中に見かける家庭ゴミを見てどうしてこんなに毎日ゴミが出るんだろうと思い少し考えてみました。そして分かった事はすぐに捨てられる環境があるという事、また、すぐには買える環境がある事です。何度でも洗って使える物もすぐに捨ててしまい新しいものを買う。それはとても安くいろんなものが買ってしまう環境をつくった社会に問題があると思います。

自分の家は 7 人家族で 99 才の曾祖母がいます。自分の両親や祖父母は仕事をしているので、ぼくは曾祖母と一緒に過ごす時間がたくさんありました。曾祖母はとても物を大切にすることで、曾祖母の部屋のゴミ箱がいっぱいになっている所を見た事はありません。何でも捨てないでいるのでたまにそれは捨てた方がいいかなという物もありますが使えるものはムダなく使うということを自分は曾祖母から教えてもらった気がします。

自分の家では生ゴミはほとんどないのが自慢です。曾祖母も物を大事にするので食事のときに使う食材もムダなく使っていますし、食べ残しが無いので捨てることはほとんどありません。何でも安くすぐには買ってしまう社会の中でぼくたち子どもが物を大切にすることはとても難しいのではないのでしょうか？ 僕が曾祖母に教えてもらったようにまずは大人が物を大切にすることを見せることが大事だと思います。

家族で話し合いそれを行動に移すこと。それをどこの家でも実践することで大きなゴミ問題は解決していくのでは？そして授業でもゴミ問題について話し合いそれを行動に移すところまで教育することが必要だと思います。

安くからすぐ買わないようにするにはどうしたらよいか？そういうことを教えてもらいたいと思いました。